

とうかいグッドトイ委員会 おもちゃ通信



2019年
7月号

ホームページ: <http://toukaigoodtoy.web.fc2.com/>

おもちゃ通信は会員同士の情報共有とつながりづくりを目的として発行する月刊通信です(^o^)

こんなおもちゃを見つけました

TSUMIKI (more tree's design)

今回紹介するのは、来年開催される東京オリンピックにちなみ、そのメインスタジアムの設計を手がける世界的建築家隈研吾さんがデザインした「TSUMIKI」を紹介します。この積み木は国産の杉の板を使用し、60度の角度で接合した特徴的な形をしています。カプラなどに慣れている人からすると、一体これをどうやって積んでいくのかと思うかもしれません。しかしそこは建築家が考えたデザイン。組み方によっては様々な形の造形物ができるそうです。建築という観点からするとこの三角の形は理にかなった基本形なのかもしれません。デザイン性もあり価格は少し高めですが、興味のある方はモアツリーズデザインのホームページで確認してください。東急ハンズ10F「男の書齋」で見つけました。



とうかいミニ講座1

「尾崎さんの手作りおもちゃ教室」

6月定例会のとうかいミニ講座は、会員の尾崎さんによる「手作りおもちゃ教室」を開催。

今回は「カラスの鳴き笛」と「クラッカー」の2つを参加者全員で作りました。カラスの鳴き笛は、材料さえ揃えば、意外と簡単に作れ、しかも本当にカラスが鳴いているような面白い音が出るんです。

一方クラッカーは作るのにやや時間はかかりましたが、皆完成したおもちゃのクオリティの高さにビックリ!何度も繰り返し遊んでいました。

この日の参加者で「ミラクルステッキ」と命名しました。

とうかいのミニ講座では毎回会員が自分の得意分野を活かした講座を1時間程度開催しています。ぜひ皆さんもご参加ください。



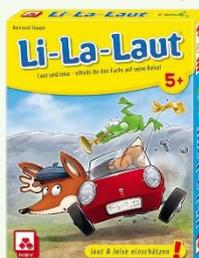
★角さんの今月のゲーム

【り・ら・ラウド】

メーカー: nsv (ドイツ) プレイ人数 2~6人

対象: 6歳~ プレイ時間 10分

7月のゲーム紹介は音の大きさで距離を表現するユニークなゲーム「り・ら・ラウド」です。円形にカードが並べて、車のカードを外側に置きます。この車は音の大きさによって進む距離が変わります。音は、手を叩く音であったり、口で鳴らしたり、息を吐いたり様々です。親の人は車が進んで欲しい距離分の見切りをつけて音を出します。その音を聞いて、他の人は親がどこまで進めたかったか予想するのです。ルールだけ聞くとそんなの当たりっこない、と思うのですが、やってみると意外とわかってもらえるのが驚きです。何度か遊んでいる内に自然とチーム内で一体感が生まれてきますよ。



✂ 児童館ア・ラ・カルト(21) 熱田児童館「作って遊ぼう」

「作って遊ぼう」に5年間通い現在小学三年生の男児です。5年間欠席なく、同席した子とも話すことなく、完成した喜びの表現に乏しい子です。が、今回、折り紙をハサミで細かく直線に切る素晴らしさを褒めました。『将来何になりたい?』『大工さん』『直線が上手にできる大工さんになるよ』今までスタッフとの質問のやり取りは何度かありました。が、大工さんの話は初めてでした。そのあと、坂道を、工夫する姿がありました。男児なりの楽しみがあり、参加していることがわかりました。(遠藤)

【編集後記】今年度のとうかいの最大のテーマは新規会員の獲得。そのため今号からおもちゃ通信の記事を1部内部向けから外部向けにしてみました。とうかいの活動を多くの人に知ってもらい、多くの仲間を増やしていけたらいいな。そんな思いを込めて作ります。 内山